

奥松島 コース

縄文の古から続く、
松島の原風景を
肌で感じる風わたる
青の国へ

お問い合わせ

あおみな（奥松島遊覧船総合案内所）
住所 東松島市宮戸字川原 5-1
営業時間 8:15 ~ 17:00
TEL. 0225-88-3997

東松島市観光物産公社
営業時間 平日 8:30 ~ 17:15
TEL. 0225-86-1511

東松島市産業部商工観光課
営業時間 平日 8:30 ~ 17:15
TEL. 0225-82-1111



km 距離 10km 所要時間 約 4時間 難易度 中級

縄文の古から続く、 松島の原風景を肌で感じるコース

巨大な湖のような静かな海の上に、点々と浮かぶ島々がつくり出す風景は、まるで絵画のような美しさです。

日本三景松島の東端に位置する「奥松島」は、松島湾に浮かぶ最大の島「宮戸島」と太平洋に臨む野蒜海岸一帯のことを指します。比較的温暖な気候で、早春には椿が咲き乱れ、野生の棕櫚（シュロ）が繁茂するなど、「東北の伊豆」とも呼ばれています。波静かな内海と荒々しい海岸の対比が美しく、海水浴、シーカヤック、釣り、地引網などのアクティビティが楽しめます。また、宮城県の国際観光テーマ地区として整備されています。

奥松島コースは、あおみなを出発し、縄文からの歴史と自然を感じながら、数多くの景勝地が存在する奥松島・宮戸島を一巡りするコース。コース序盤は、縄文時代の歴史をたどる道。さとはま縄文の里史跡公園で日本最大級の貝塚を見学し、縄文時代の歴史と風景を体験できます。さらに稲ヶ崎公園や松島四大観の一つである大高森などをめぐりながら、奥松島の風景を360度パノラマで眺めることも。海の幸や地域住民の温かいおもてなしもコースの楽しみの一つです。



①⑬ あおみな

奥松島コースのスタート・フィニッシュ地点。地域の特産品などを扱う売店では、お土産が買えるほか、飲み物や軽食も販売。疲れた足を癒える足湯、奥松島遊覧船の案内所もあるので、奥松島の観光拠点にもなっています。

② 大高森薬師堂

大正4年に大高森の中腹に建てられたお堂です。これは当時の宮城県知事森正隆氏が建設したもので、室内には、白木作りの薬師如来像が奉祀されています。伊具郡西根、高蔵寺本堂の修繕の際に、この大柱で薬師如来、聖徳太子、三十三観音を造り、その薬師如来が大高森薬師堂に奉祀されました。

③ 奥松島縄文村歴史資料館

宮戸島で発見された縄文時代の貝塚で、国史跡に指定された「里浜貝塚」から出土した縄文土器や骨角器、石器、装身具などが展示されているほか、縄文人になりきることができる体験メニューにチャレンジすることが出来ます。自然と共生した縄文人の知恵と文化を知ることが出来るミュージアムです。

アクセス（スタート地点まで）



鉄道

●仙台空港<仙台空港アクセス鉄道/約25分> ▶ JR仙台駅<JR仙石東北ラインorJR仙石線/最短31分> ▶ JR野蒜駅
●JR東京駅<東北新幹線/約1時間35分> ▶ JR仙台駅<JR仙石東北ラインorJR仙石線/最短31分> ▶ JR野蒜駅
※JR野蒜駅からあおみなまで、タクシーで約10分(運賃約1,500円)
※JR野蒜駅隣の奥松島イートプラザからレンタサイクルで約22分



自家用車
(レンタカー)

●仙台空港 ▶ 仙台空港I.C<仙台東部道路・三陸自動車道/約45分> ▶ 鳴瀬奥松島I.Cから
奥松島松島公園線経由で約14分



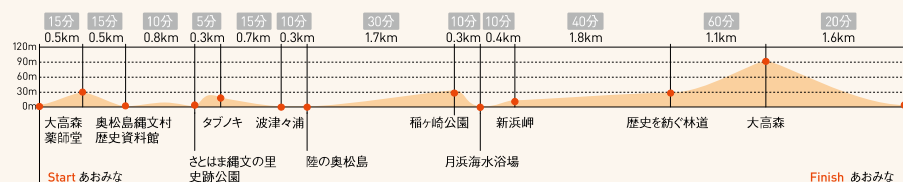
タクシー

奥松島観光タクシー TEL 0225-88-3048 矢本タクシー TEL 0120-02-3181
あんしんタクシー TEL 0225-98-7177 東松島まるせんタクシー TEL 0120-44-2188



奥松島コース

①あおみな(スタート 0.0km)→②大高森薬師堂(大高森中腹) (0.5km)→③奥松島縄文村歴史資料館 (1.0km)→④さとほ縄文の里史跡公園 (1.8km)→⑤タブノキ (2.1km)→⑥波津々浦 (2.8km)→⑦陸の奥松島 (3.1km)→⑧稲ヶ崎公園 (4.8km)→⑨月浜海水浴場 (5.1km)→⑩新浜岬 (5.5km)→⑪歴史を紡ぐ林道 (7.3km)→⑫大高森 (8.4km)→⑬あおみな(フィニッシュ 10.0km)



⑤ タブノキ(楠の木)

さとほ縄文の里史跡公園の裏にある御神木の大きなタブノキ。タブノキは、クスノキに似ていて見間違えることから「たぶらかす木」が転じたのが名前の由来という説もあります。



⑧ 稲ヶ崎公園

蔵王連峰、松島湾、牡鹿半島、晴れた日には福島県相馬地方まで眺められます。周辺の椿の林も見どころです。

⑨ 月浜海水浴場

海の透き通るような青と綺麗な砂浜が特徴的な海岸です。夏には、月浜海水浴場が開設され、たくさんの海水浴客で賑わい、波が穏やかなため、小さなお子さま連れのご家族も安心して楽しんでいただけます。



⑩ 新浜岬

「馬の背」と呼ぶ、馬の背中のように切り立った岬が特徴です。展望園地は日当たりが良く、のんびりするには格好の場所です。



⑪ 歴史を紡ぐ林道

観音寺から続く林道で、住職のお話では、「人が歩くと活きる道」と伝わる道です。昔は集落と集落を繋ぐ道や通学路として使われていました。たくさんの緑に囲まれた癒される道です。



⑥ 波津々浦

静かな内湾の水面を眺めながら、ゆっくりと堤防を歩きます。



④ さとほ縄文の里史跡公園

里浜貝塚は縄文時代前期から弥生時代にかけ、続く日本最大級の規模を持つ貝塚です。展望台からの素晴らしい景色は、縄文時代からほとんど変わらないと言われています。



⑦ 陸の奥松島

奥松島の各所には、昔は海だった名残が岩肌などに見られます。現在は、水田となっている場所も昔は海でした。



⑫ 大高森

宮戸島の中心部に位置する山。松島四大観の一つ「壮観」と呼ばれます。山頂の展望台からは、美しい松島湾と広大な太平洋を360度の大パノラマで一望出来ます。



宿泊施設

大高森観光ホテル

収容人数:25名
部屋数:10室
IN 14:00 OUT 10:00
送迎:無
住所 東松島市宮戸字川原3
TEL 0225-88-2121
http://www.ootakamori.com/



漁師民宿 桜荘

収容人数:20名
部屋数:7室
IN 15:00 OUT 9:30
送迎:有
住所 東松島市宮戸字里25
TEL 0225-88-3206
http://www.sakura-k2.com



奥松島 LANE HOTEL (レーンホテル)

収容人数:68名
部屋数:29室
IN 15:00~19:00 OUT 10:00
レストラン:有
日帰り入浴:有
送迎:無
住所 東松島市野蒜ケ丘3丁目29-1
TEL 0225-86-2501
https://okumatsushima.lanehotel.jp/



民宿 新浜荘

収容人数:25名
部屋数:5室
IN 15:00 OUT 9:30
送迎:有
住所 東松島市宮戸字三サ河31
TEL 0225-88-2045
https://htqs941.wixsite.com/sinhamasou



汐さいの宿 ちどり館

収容人数:30名
部屋数:7室
IN 15:00 OUT 10:00
送迎:有
住所 東松島市宮戸字横山11-1
TEL 0225-88-2066
http://chidorikan.com/



民宿 山根

収容人数:20名
部屋数:7室
IN 14:00 OUT 10:00
送迎:有
住所 東松島市宮戸字三サ河38
TEL 0225-88-3349
https://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/jikan/tomaru/yamane.html



KIBOTCHA (キボッチャ)

収容人数:68名
部屋数:14室
IN 15:00 OUT 10:00
レストラン:有
日帰り入浴:有
送迎:有
住所 東松島市野蒜字亀岡80番地
TEL 0225-25-7319
http://kibotcha.com/guide



いろどりの丘

収容人数:10名
部屋数:シングル2室、
ツイン2室、4人部屋1室
IN 16:00 OUT 10:00
日帰り入浴:有
送迎:無
住所 東松島市野蒜ヶ丘2-25-2
TEL 0225-25-7577
https://irodori.jmdo.org/guide/hotel



民宿 かみの家

収容人数:40名
部屋数:8室
IN 15:00 OUT 10:00
送迎:有
住所 東松島市宮戸字月浜16-1
TEL 0225-88-4141
https://okumatsushima.wixsite.com/kaminoie



※宿泊は、全て要予約。※送迎はコースまでの送迎ではなく宿まで ※要予約で日帰り食事が可能なところあり

飲食店

えんまん亭

営業時間 10:00~19:00(L.O. 18:30)
休/第2・第4水曜日
住所 東松島市野蒜字北赤崎42-2
TEL 080-5579-3769

奥松島クラブハウス

営業時間 平日11:00~15:00(L.O.14:30)・土日祝
11:00~18:00(L.O.17:00)※のびるノ茶屋(軽食
テイクアウト)は、平日・土日祝とも10:00~17:00
休/月曜日(祝日の場合は翌日)
住所 東松島市野蒜字北余景15-1
TEL 0225-98-8123
https://omch.jp



あおみな食堂

営業時間 11:00~15:00(L.O. 14:30)
休/火曜日
住所 東松島市宮戸字川原5-1
TEL 0225-88-3997
https://higashimatsushima-kanko.com/

トピックス

海苔

品評会で優勝し皇室に
献上された実績を多数
持つ高品質な東松島の
海苔。焼き海苔や味付
け海苔のほか、塩のり、
佃煮、のりドレッシング
など様々な商品が販
売されています。



のりうどん

東松島の特産品である
海苔を麺に練り込んだ
「のりうどん」。つるつ
るとした喉越しと海苔
の風味が人気です。
特にオススメは、冷や
しのりうどん、他にも
サラダのりうどんなど、
お店ごとに工夫を凝
らしたメニューが楽
しめます。お土産に乾
麺と専用のつゆが販
売されています。



のびるバウム

野蒜で作られた小麦粉や米粉を使用した、
農家自らが作るバウムクーヘンです。のび
るバウム(ソフト)、のびるバウム(ハード)、
のびるこどもバウムなどの種類があり、サ
イズも大きなものから手のひらサイズま
であるので、お土産や贈り物にぴったりな商
品です。

○のびる村直売所

住所 東松島市野蒜字羽黒50-1
TEL 0225-86-2535



牡蠣

2本の1級河川から注ぐミネラルやプランク
トンなど栄養分が豊富な漁場で育てる牡蠣
は、サイズもより大きく身も締まっていて、
甘みのある深い味わいとなっています。か
き小屋で焼き牡蠣を楽しんだり、鍋やフライ
など食事処で様々な牡蠣料理を味わうこ
とが出来ます。



もっと楽しむ宮城 海と空を満喫する東松島

宮城県中部、石巻市と松島町の間に位置する東松島市。

豊かな漁場として知られる松島湾では海苔やカキの養殖が盛ん。

市内には松島基地があり、タイミングが良ければブルーインパルスの飛行訓練なども見られます。

松島を海から楽しむ 奥松島遊覧船



日本三大渓「嵯峨溪」を巡る遊覧船。嵯峨溪は、優美な松島とは対
照的な荒々しい景観が魅力。20~40mの海蝕崖が続く迫力満点
のパノラマを、遊覧船から目の当たりにすることができます。

利用料金 嵯峨溪コース(60分 / 大人2,000円(税込) 小学生1,500円(税込))
最少人数 嵯峨みらい おとな5名(5名未満で10,000円(税込))、
第二・第五嵯峨 おとな3名(3名未満で6,000円(税込))
遊覧船案内所の営業時間 8:15~17:00(年中無休)
遊覧船運行は8:45から、最終運航は4月~9月は16:00、他の月は15:00
住所 東松島市宮戸字川原5番地1(あおみな内)
TEL 0225-88-3997(遊覧船に関するお問い合わせ)
※定期運航ではありません

東松島の空を楽しむ ブルーインパルス

松島基地は、第4航空団第11飛行隊「ブルーインパルス」の本拠地。
市内上空では日常的に飛行訓練が行われています。夏に開催され
る航空祭では、青と白にカラーリングされた飛行機が、白い噴煙
で線を描きながら華麗なアクロバット飛行で魅了します。

※基地見学やイベントについては、航空自衛隊松島基地ホームページをご確認く
ださい
航空自衛隊松島基地 <https://www.mod.go.jp/asdf/matsushima/>



東日本大震災の被害状況と復興の歩みを学ぶ 東松島市東日本大震災復興祈念公園、震災復興伝承館



旧 JR 野蒜駅舎を利用した「震災復興伝承館」は、東日本大震災の
被害状況や復興の歩みを学ぶことができる施設。祈念広場には震
災により亡くなられた方々への鎮魂と慰霊のために、震災復興モ
ニュメントが建てられています。

営業時間 9:00~17:00 休業日 毎週月曜日(祝日の場合翌日)、年末年始
住所 東松島市野蒜字北余景56-36
TEL 0225-86-2985

大崎・ 鳴子温泉コース

大自然の恵みと
悠久の歴史に包まれ
湯の香り漂う
癒しの路

お問い合わせ

大崎市産業経済部観光交流課
TEL. 0229-23-7097

⚠ 注意事項

- 11月下旬～4月下旬までは冬期閉鎖となります。
- 鳴子峡レストハウスの駐車場は10月上旬から11月上旬にかけて有料となります。
- 熊が目撃されている地域を通りますので、ご注意ください。

大崎・鳴子温泉のコースの楽しみ方の1つです。趣のあるお店は心惹かれる魅力を持っており、鳴子温泉街は、旅人の好奇心によって新しい散歩道にもなります。コース中には日本こけし館もあり、東北各地の伝統こけしが展示され、絵付け体験を楽しむことができます。「鳴子こけし」は国指定の伝統的工芸品にも指定されており、その素朴なほほえみは人々の心を癒してくれます。大崎・鳴子温泉コースは、たくさんの魅力にあふれるコースです。

km 距離 10km

所要時間 約 4時間

難易度 初級

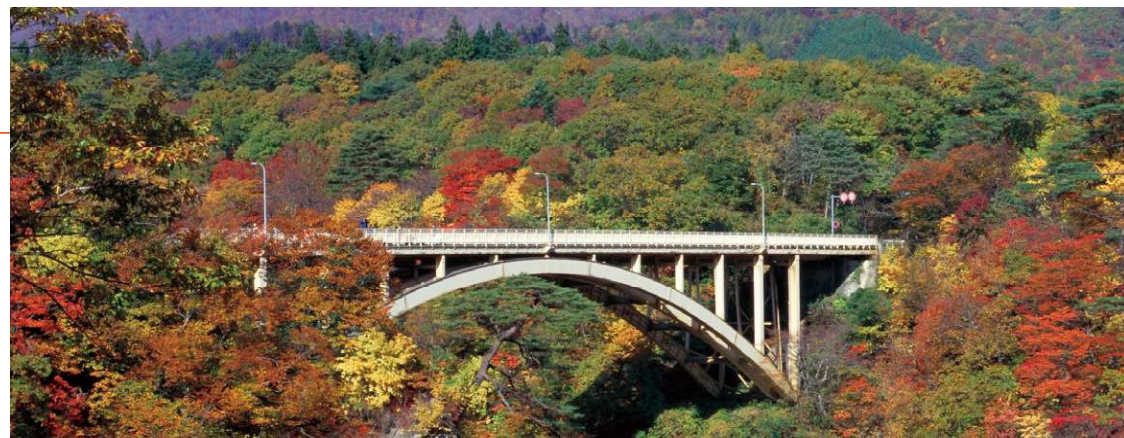
雄大な峡谷が抱く自然と 1200年伝統の温泉を楽しむコース

静かな温泉街には硫黄の香がほのかに漂う。宮城オルレ大崎・鳴子温泉コースは、宮城県北西部の大崎市にあり、市の西側は山形県・秋田県と接しています。大谷川が刻んだ深い峡谷や奥の細道がある小さな道を歩き、温泉が有名な地域ならではの手湯と足湯も楽しめるコースとなっています。

コースは、東北屈指の大峡谷・鳴子峡から始まります。深さ100mの峡谷は、近くで見ると、より雄大に感じられます。鮮やかな新緑が次々と芽吹く春から、赤や黄色の美しい紅葉に染まる秋まで、季節によって移り変わる鳴子峡の風景は、一幅の絵のようです。

中山平温泉から鳴子温泉を結ぶ散策路は、17世紀の日本を代表する俳人「松尾芭蕉」など多くの歴史的人物が歩んだ奥の細道を通ります。平安時代からその名が都に知られた温泉神社は、鳴子温泉の始まりであり、鳴子温泉郷は、環境省指定の「国民保養温泉地」で、10種類のうち7つの泉質を楽しむことができます。ゆめぐり広場では、気軽に温泉の湯ざわりが楽しめる「手湯」が体験できます。フィニッシュ地点の鳴子温泉駅にある足湯は、ヒノキ造りの浴槽で、歩き疲れた足を癒し、座ってゆったりと語らいを楽しめる空間です。

また、昔ながらの商店や食堂が並ぶ鳴子温泉街をゆっくり歩くのも、



① 鳴子峡

名勝「鳴子峡」は、5月上旬から鮮やかな新緑が次々と芽吹き、10月中旬から11月上旬にかけては、大谷川が刻んだ深さ100mの大峡谷が赤や黄色の美しい紅葉に染まります。峡谷の両側にある、様々な形の岩肌が間近に感じられ、季節によって移り変わる風景も見所の一つです。

④ 奥の細道

史跡「出羽仙台街道中山越」の名称で国の文化財に指定された松尾芭蕉ゆかりの道。俳聖芭蕉の足跡を慕って訪ねる旅人が絶えません。人生を旅そのものと捉えた松尾芭蕉が生前残した俳句があります。「旅に病んで夢は枯野をかけ廻る」

⑨ ゆめぐり広場(手湯)

気軽に温泉の湯ざわりが楽しめる「手湯」と回廊を備えたゆめぐり広場。また、ゴールには足湯もあるので温泉街の雰囲気存分に味わってみてください。

アクセス (スタート地点まで)



鉄道

- 仙台空港<仙台空港アクセス鉄道/約25分> ▶ JR 仙台駅<東北新幹線/約13分>
- ▶ JR 古川駅～JR 鳴子温泉駅<JR 陸羽東線/約45分> ▶ 鳴子温泉駅<タクシーで約10分>
- ▶ 鳴子峡レストハウス



バス

- 仙台空港<仙台西部エアポートライナー/約35分> ▶ JR 仙台駅<JR バス東北高速バス/約60分> ▶ JR 古川駅<ミヤコーバス鳴子線/約75分>(平日のみ) ▶ ミヤコーバス鳴子温泉駅前停留所<タクシーで約10分> ▶ 鳴子峡レストハウス



自家用車
(レンタカー)

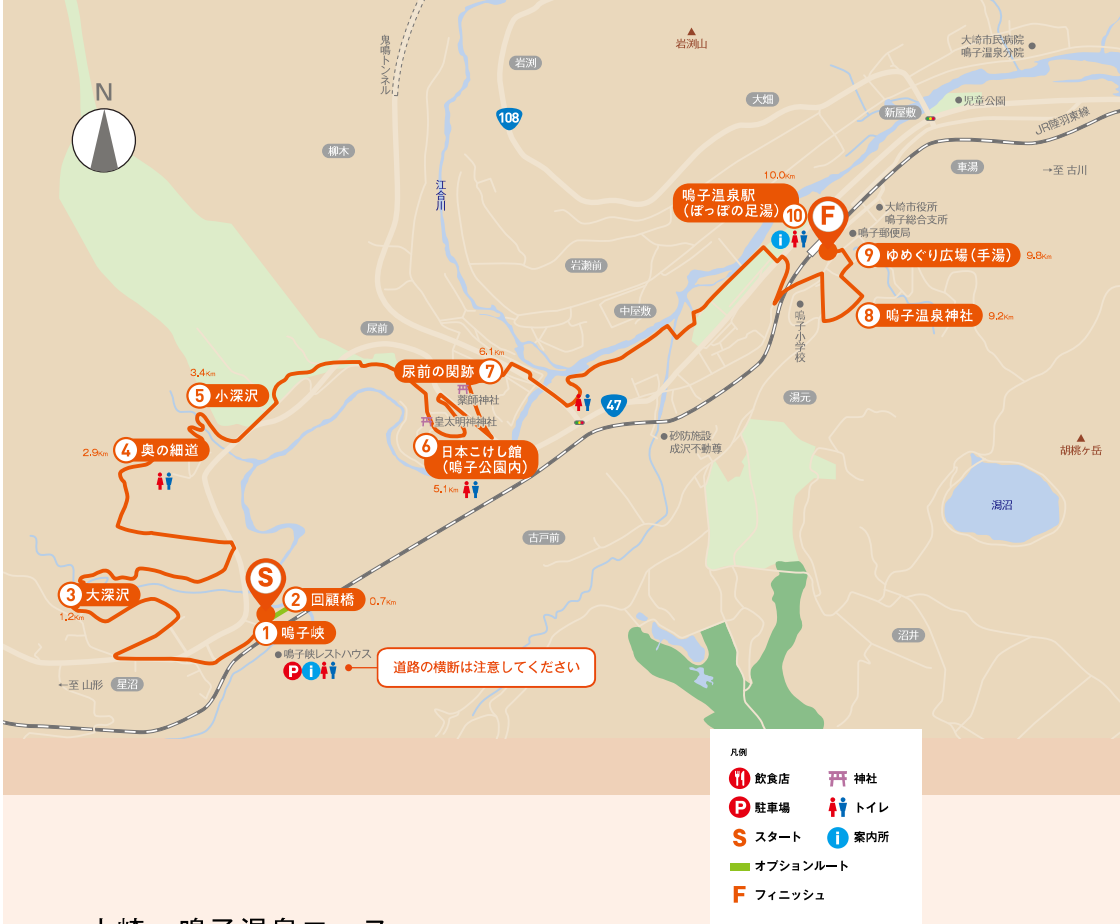
- 仙台空港 ▶ 仙台空港 I.C<仙台東部道路・東北自動車道/約45分> ▶ 古川 I.C<国道47号/約45分>
- ▶ 鳴子峡レストハウス



タクシー

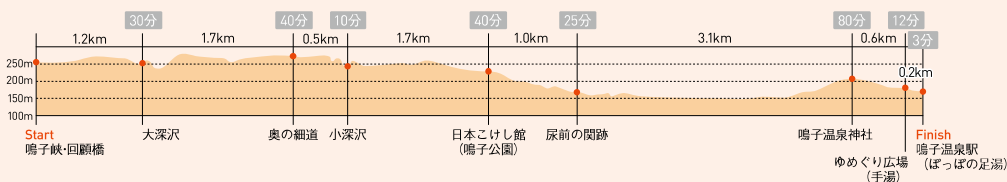
- 鳴子中央タクシー TEL 0229-82-2244
- 中山平タクシー TEL 090-4042-3744





大崎・鳴子温泉コース

①鳴子峡(スタート0.0km)→②回顧橋(往復0.7km)→
③大深沢(1.2km)→④奥の細道(2.9km)→⑤小深沢
(3.4km)→⑥日本こけし館(5.1km)→⑦尿前の関跡
(6.1km)→⑧鳴子温泉神社(9.2km)→⑨ゆめぐり広場
(手湯)(9.8km)→⑩鳴子温泉駅(ぼっぼの足湯)(フィニ
ッシュ10km)



コースのオプションルートで、大峡谷「鳴子峡」を下から眺めることができるスポットです。急な坂道もありますが、岩肌を間近に感じながら見る景色は格別です。(折り返しの約700m)



1689年に芭蕉とその弟の曾良が厳しい取り締まりを受けた仙台藩の番所。近くには、芭蕉の像や句碑もあり、歴史の流れを感じることができます。



東北各地のこけしが展示されており、木地挽きやロクロ描彩などの製作実演のコーナーや自分だけのオリジナルこけしが作れる絵付け体験(有料)もできます。また、鳴子公園からは鳴子温泉の街並みが一望できます。



「奥の細道」最大の難所とされた場所。現在は、当時の面影を残しつつも橋も整備されている。暑い日には、川の流れが涼しさを運んでくることを感じられます。

宿泊施設情報

「鳴子温泉郷観光案内所」(年中無休)

住所 大崎市鳴子温泉字湯元2-1 **TEL** 0229-83-3441

※鳴子温泉郷は、環境省指定の「国民保養温泉地」です。
旅館、ホテルなど多くの温泉施設は自家源泉を有し、多彩な泉質を楽しめます。
また、日帰り入浴に対応している施設もあり、宿泊をしなくても気軽に旅館と共同湯のお風呂を楽しむことができます。



飲食店

鳴子峡レストハウス

営業時間 11:00～14:00(繁忙期は延長あり)

休/冬季間(11月下旬～4月下旬)

うどん、そば、カレー

住所 大崎市鳴子温泉字星沼13-5

TEL 0229-87-2050

笑喜家(わきち)

営業時間 11:30～14:00

休/不定休

かつ丼、ラーメンセット、味噌ラーメン

住所 大崎市鳴子温泉字尿前87-3

TEL 0229-25-3982

まるぜん

営業時間 11:30～14:00 休/不定休

温卵カレー、山菜そば

住所 大崎市鳴子温泉字湯元109-1

TEL 0229-83-2202

たかはし亭

営業時間 10:00～15:00

休/水曜、木曜定休(祝祭日除く)

鳴子焼蕎麦おくずかけ、温卵カレー

住所 大崎市鳴子温泉字新屋敷121-1

(鳴子郵便局前)

TEL 0229-81-1510

糸がほ食堂

営業時間 9:00～20:00

(14:00～17:00休憩)

休/不定休

温卵カレー、山菜きのこそば

住所 大崎市鳴子温泉字湯元2-4

TEL 0229-83-3074

そば処 小花

営業時間 11:00～21:00

休/不定休

地鶏南蛮そば、天ざるそば

住所 大崎市鳴子温泉湯元87

TEL 0229-83-2126

cafe gutto

営業時間 11:30～18:00

休/金曜

自家製プリンとコーヒー

住所 大崎市鳴子温泉湯元27-2-2

TEL 無し Instagramのみ連絡可

トピックス

【伝統工芸品】



鳴子こけし

大きな頭、中程がやや細くなった安定感のある胴と菊の模様は、鳴子こけしの大きな特徴として親しまれています。首を胴に差し込んだ「はめ込み式」で、首を回すと「キュッキュッ」と音が出ることも知られています。匠が作る人形を見ることができお店や、絵付け体験のできるお店もあります。

鳴子漆器

今から350年以上前から創始されたと伝えられている漆器です。特徴は、挽物木地の塗して技術にあり、塗りは木目を生かした木地呂塗りやふき漆仕上げ、また、独特の墨流しの技法の竜文塗があり、しっとりとした美しさがあります。

宮城野部屋直伝

なる子ちゃんご饂飩

大相撲宮城野部屋の震災復興慰問交流をきっかけにご提案をいただき、認定を受けた提供店で味わうことができます。提供店ののぼりとステッカーが目印です。



栗だんご

栗の甘露煮がまるごと入った「栗だんご」は鳴子温泉の名物で、店内で作りたても楽しめます。

○餅処「深瀬」

住所 大崎市鳴子温泉湯元24-2

TEL 0229-83-2146



もっと楽しむ宮城

宝の都(くに)・大崎

大崎市は、東北最大の都市「仙台」から北へ40km宮城県北西部に位置します。
広大で肥沃な平野「大崎耕土」を有し、古くから農業を中心とした文化が栄え、「世界農業遺産」にも認定されました。

また、豊かな自然環境と良質米を原料として造られる自慢の地酒や文化と歴史の香りが漂う工芸品、
岩出山の「竹細工」、伝統を受け継ぐ「鳴子こけし」「鳴子漆器」は全国的にも有名です。

地酒

悠久の時とともに大地を潤す江合川と鳴瀬川の流れ。世界農業遺産に認定された「大崎耕土」の広大な大崎平野に実る黄金色の米。
おいしいお米とおいしい水の恵みをたっぷりと受けた大崎市には、酒づくりに情熱を注ぎ、特色ある銘酒を生み出す酒蔵が点在しています。
それぞれの蔵の思いが詰まった銘酒を楽しむことができます。



○一ノ蔵

住所 大崎市松山千石字大樺14

TEL 0229-55-3322

○寒梅酒造

住所 大崎市古川柏崎字境田15

TEL 0229-26-2037

○浅勘酒造店

住所 大崎市古川矢目字北谷地87

TEL 0229-26-2255

○新澤醸造店

住所 大崎市三本木字北町63

TEL 0229-52-3002

○森民酒造店

住所 大崎市岩出山字上川原町15

TEL 0229-72-1010

○橋平酒造店

住所 大崎市古川七日町3-10

TEL 0229-22-0335

潟沼

硫黄の匂いの漂う噴火によってできた国内有数の強酸性のカルデラ湖です。ボートや遊歩道があり、自然散策も楽しめます。天気によって、エメラルドグリーンなどさまざまな色に変化する湖面は幻想的な雰囲気です。

住所 大崎市鳴子温泉字湯元 地内
11月下旬から4月下旬は、積雪等の為に閉鎖となります。



温泉

鳴子温泉郷は、日本にある10種類の泉質の内7種類を楽しむことができます。「鳴子温泉」「東鳴子温泉」「川渡温泉」「中山平温泉」「鬼首温泉」からなる鳴子温泉郷は古くから東北の湯治場として知られ、農作業を終えた人々の疲れを癒してきました。湯量豊富で多彩な泉質と効能には定評があり、宮城県で唯一「国民保養温泉地」にも認定されています。



登米コース

春の匂い 緑の癒し
恵みの秋 渡り鳥の冬音
季（とき）を感じる路

お問い合わせ

登米市産業経済部 観光物産戦略課
TEL. 0220-34-2759

km 距離 11km 所要時間 4〜5時間 難易度 初級

雄大な自然や地域の歴史・文化に触れるコース

豊里公民館を出発し、登米市の象徴ともいえる田園風景や雄大な旧北上川の流れ、地域の歴史や文化に触れながら、平筒沼ふれあい公園を目指すコースです。県の指定文化財である「香林寺」の山門や風格のある庭園を眺め、「平筒沼農村文化自然学習館」では県指定有形民俗文化財である竈神様をはじめ、昔の農具や生活用品が展示されており、休憩も兼ねて見学することもできます。平筒沼に架けられた「ふれあい橋」を渡り、天然のアカシデがほぼ純林状態で存在する「平筒沼いこいの森」を歩き、最後は「平筒沼ふれあい公園」から平筒沼を眼下に眺めます。四季折々の表情をお楽しみください。



② 線路脇の田園風景

登米市の象徴ともいえる田園風景を楽しみながら、まっすぐに伸びる線路沿いの道を歩きます。

③ 旧北上川

北上川は、岩手県岩手町の弓張の泉（ゆはずのいずみ）を源に発し、宮城県石巻市北上町の追波湾に注ぐ延長249kmの河川で、東北の河川では最大、日本全国では4番目の河川です。

旧北上川は、脇谷洗堰（わきやあらいぜき）・鴛波洗堰（ときなみあらいぜき）により北上川から分派し石巻市の石巻港に注ぐ河川です。

④ 香林寺山門

香林寺の山門は、室町時代後期に移築されたもので、県内では2番目に古い木造建築物であり、県指定有形文化財に指定されています。この山門は、昭和16年に当時のこけら葺の屋根を、瓦にふきかえるなどの改修を行いました。平成2年に香林寺が主体となって、移築当時の現状に近い形に復元、修理されて現在に至っています。柱など主なもの移築当時のものが使用され、400年以上の歴史を伺い知ることができます。

アクセス（スタート地点まで）



鉄道

●仙台空港〈仙台空港アクセス鉄道/約25分〉▶JR仙台駅〈東北本線/約43分〉▶JR小牛田駅〈石巻線-気仙沼線/約27分〉▶JR陸前豊里駅
●JR東京駅〈東北新幹線/最短1時間46分〉▶JR古川駅〈陸羽東線/約12分〉▶JR小牛田駅〈石巻線-気仙沼線/約27分〉▶JR陸前豊里駅
※JR陸前豊里駅から徒歩16分 ※JR陸前豊里駅からタクシーで約5分（運賃約670円）
※平筒沼ふれあい公園から豊里公民館まで、タクシーで約10分（運賃約1,390円）



バス

●JR仙台駅〈高速バス登米市役所前行き/約1時間35分〉▶登米市役所前〈登米市市民バス/約1時間〉▶豊里総合支所（豊里公民館）



自家用車
（レンタカー）

●仙台空港 ▶仙台空港I.C〈仙台東部道路・三陸自動車道/約1時間10分〉▶桃生豊里I.C〈県道30号経由/約10分〉▶豊里公民館
●JR古川駅〈国道346号経由/約50分〉▶豊里公民館



タクシー

●豊里町 あさの豊里タクシー TEL 0120-252-035 熊谷タクシー TEL 0225-76-2022
●米山町 米山タクシー TEL 0220-55-2038